議会だより 玖珠

わたしたちの学校 くす星翔中学校

体育祭の様子

第160号　2026 11.1

もくじ

決算特別委員会 …… 2～3P
予算常任委員会 …… 4P
企画民生教育常任委員会 …… 5P
総務建設農林常任・基地政策特別委員会 … 6P
議会と議員の活動 …… 7P
一般質問（6名） …… 8～13P
シリーズ“ガンバりょるばい” …… 14P

玖珠町議会
公式チャンネルへ
アクセス

●発行／大分県玖珠町議会　●編集／議会広報特別委員会　●印刷／いづみ印刷株式会社

〒879-4492 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足268-5 TEL 0973-72-1507　HP　https://www.town.kusu.oita.jp

令和7年度 一般会計歳入歳出決算

令和8年第3回玖珠町議会定例会において、決算特別委員会に審査の付託を受けました令和7年度一般会計、各特別会計及び各水道事業会計の決算認定案件7件について、9月8日より10日まで審査した結果を報告します。

歳入 112億248万円　**歳出** 107億6207万円

決算剰余金のうち1億9100万円は基金へ積み立てます。

予算は何に使われたのか？



町制施行70周年記念事業
597万円



くすPayチャージボーナスバック事業
5179万円



旧久留島氏庭園の景観再生事業
460万円



ふるさと納税額
6億7262万円

各特別会計決算

•水道事業会計決算
収益:2億3293万円　費用:1億9423万円

•簡易水道事業会計決算
収益:2704万円　費用:1980万円

•住宅新築資金等貸付事業特別会計決算
歳入:16万円　歳出:16万円

•国民健康保険事業特別会計決算
歳入:17億9419万円　歳出:17億8366万円

•介護保険事業特別会計決算
歳入:22億6051万円　歳出:22億1022万円

•後期高齢者医療事業特別会計決算
歳入:3億1613万円　歳出:3億1476万円

主な質疑

問 基幹業務システムの標準化は終わり、運用が始まっているのか。

答 標準化の主な対応は終わっています。今後ネットワークの経費やガバメントクラウドの利用料が見込まれています。

問 中山間地域等直接支払制度の集落協定数は前期と比べ、どのくらいが減っているのか。

答 令和6年度の集落数は80でしたが高齢化等で業務を賄えなくなり、8集落減少しています。

問 パラディッソおおいたの経営状況はどうなっているのか。

答 今年が契約最終年で黒字の報告となっています。定期的に訪問し集客状況などについて協議しています。

問 地域商社の設立にふるさと納税額の9%で委託しているが、納税額の大小に関わらず同じ事業をしてもらえるのか。

答 成果報酬制として成果に応じて一定の割合の率で委託する方式をとっています。地域産業振興業務の委託料として9%の事業費を組んでいます。

問 集落支援員の現状と今後の活動は。

答 空き家調査や相談などの通常業務のほか有償ボランティアサービス等の運営を行いながら、定例会を開き地域との関わりを確認しています。来年度は事業内容の見直しに向け準備をしています。

問 旧久留島氏庭園の景観再生事業の財源は何か。

答 ふるさと応援基金から460万円を活用し実施しました。

決算のまとめ

令和7年度一般会計において、実質収支は3億8167万円の黒字だが、単年度収支は3844万円の赤字となった。決算の特徴として、国税の増収により補正予算による普通交付税が増額され、本町の普通交付税も増額された。結果として経常一般財源が増加し、一時的に財政収支が好転した数値となった。

監査委員の意見

急激な物価の上昇は、建物の経年劣化や施設の維持管理にかかるコストの増加に直結するため、受益と負担の適正化の観点から、住民から共感と理解を得られるよう使用料の見直しを行う等、持続可能な行財政基盤の確立を推進されたい。

審査の付託を受けました一般会計決算案件は賛成多数
特別会計決算案件は賛成全員で認定すべきものと決しました。

令和８年度 一般会計補正予算（第２号）

主要事業

済生会病院運営負担金

1919万2千円

・人的コストと設備投資コストによる構造的赤字にある済生会日田病院に対し、西部圏域の救急医療及び小児科体制を維持することを前提に、構成市町である日田市、玖珠町、九重町で運営費に対する財政支援を行うための経費を計上する。





B&G海洋センタープールテント張替え工事

2824万4千円

・前回の張替えから20年以上が経過し、劣化による裂傷や突風による破損箇所の広がりが激しく、修繕しても他の場所から裂傷が広がるため全面張替えの経費を計上する。

ホッケー場 人工芝張替え等設計業務委託

1122万円

・完成から20年が経過し、経年劣化が激しいため、選手がケガをする可能性があることから、全面の芝を張り替えるために必要な設計委託料を計上する。



令和８年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）

1061万1千円を追加

令和８年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）

136万7千円を追加

令和８年度介護保険事業特別会計補正予算（第２号）

5627万6千円を追加

令和８年第３回玖珠町議会定例会において、予算常任委員会に付託されました議案４件について、９月11日に審査した結果を報告します。

委員の選任

玖珠町教育委員会委員（再任）
岩尾　純子氏

玖珠町人権擁護委員（新任）
時枝　弘法氏

条例の一部改正
玖珠町教育相談センター「わかくさの広場」設置及び管理に関する規定

教育相談センターの具体的な位置について教育委員会規則で定めることができるよう規定を整備するものです。
※一時的に小田小学校に移動させるため

主な質疑応答

問　こども達と現場の先生方の同意や納得ができているのか。施設面での対応はできるのか。

答　3月に休校した小田小学校が今現在取り得る最善の手段として、先生方等にはご理解いただいています。先生方が施設見学を行っており、環境的には問題ないと捉えています。

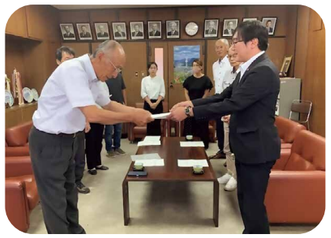


小田小学校全景

請願　提出者　道の駅童話の里くす出荷組合

『道の駅 童話の里くす』運営に係る地域商社（株式会社）経営移譲の反対を求める請願

道の駅出荷組合の意思を尊重し、地域商社（株式会社）に経営移譲しないことを町に請願するもの



請願の様子

主な質疑応答

問　請願が採択されれば強引な提案をすることなく、出荷組合をはじめ出荷者の理解なしで、頭ごなしに導入するつもりはないと言ったが再度確認したい。

答　請願の取り扱いについて、議会の意向を尊重して十分審議したいと思います。まずは出荷組合の皆さまのご理解が一番大事だと思っています。

問　委託先から提案書が出たからといってそのまま受け入れるのではなく、しっかり説明･協議しないと何のために提案書を作ったかわからない。

答　6月議会で提案した資料を作る際も、皆さんのご意見を聞きながら提案資料を作るべきだったと考えています。

問　来年4月の指定管理の更新のための見切り発車にならないことの確認をしたい。

答　来年度の指定管理については請願も提出されており、何よりも出荷組合が不信感･不安感を持っている状況なので慎重に審議し、改めて提案させていただきたいと思います。



この請願は全会一致で採択されました。

「鳥獣被害防止総合対策（鳥獣被害防止総合支援事業）」鳥獣防護柵購入契約

契約相手　㈱宇佐建設
契約金額　796万7740円（消費税額を含む）

実施地区	柵種類	距離	購入数量
①中塚	防護柵（幅2.0高さ1.8m）	1,210m	605枚
②田能原	防護柵（幅2.0高さ1.8m）	1,270m	635枚
③中泊里	防護柵（幅2.0高さ1.8m）	270m	135枚
④杉河内	防護柵（幅2.0高さ1.8m）	680m	340枚
⑤鼻繰原	防護柵（幅2.0高さ1.8m）	500m	250枚
計		3,930m	1,965枚



問　過去は対策の規模が大きかったが、全体的に縮小しているのか。

答　東北地方を中心にクマの被害等が多く、その対策に係る事業に重きを置く傾向にあるのか、国の予算が縮小傾向にあり、要望しても全額予算はつかない状況です。

日出生地区自治委員との意見交換会

8月4日、日出生南部コミュニティーセンターで日出生地区自治委員と意見交換会を開催しました。

主な意見

1. 日出生台演習場関係調整委員会に提出する要請項目が多いため整理してほしい。
2. 補助金要綱を、より活用しやすい内容に見直してほしい。
3. 田代地区の水源確保について、5年以内に改善してもらいたい。

要請行動を実施

地域から寄せられた意見などを踏まえ、10月14日、九州防衛局と西部方面総監部に要請を行いました。


意見交換会の様子

九州防衛局への主な要請

〇基地周辺政策経費の増額と充実強化
　・再編関連訓練移転等交付金の継続　・採草地の代替地として、広大な採草地を新たに確保
〇日出生台演習場の米軍使用に関する協定を遵守　〇玖珠駐屯地の隊員を増員

西部方面総監部への主な要請

〇自衛隊との共存・共生をめざした隊員の増員と新たな部隊の配置を行うこと
〇採草量を確保できるよう、訓練日程の調整や立入区域の緩和を行うこと
〇演習時の日出生台演習場周辺地域の安全を確保するため、周辺住民に配慮した訓練計画とすること

ひとりひとりの議員が住民代表としての自覚を持って活動しています！

Q　「議会」って議員さんが集まってどんな活動をしているのかしら？



A　限られた予算で住民の要望を全部かなえることはできないので、議会は、できるだけ住民のみなさんが納得できる決定ができるよう、次のような活動を行っています。


議員

本会議



条例や予算などの議案を審議し、議決をする会議です。一般的に年４回程度計画される定例会と、必要に応じて招集される臨時会があります。
町長への一般質問も本会議で行います。

全員協議会



議案の審査や議会の運営について、議員全員で協議や調整を行うための会議です。
そのほか、議会の行事などについての協議や調整を行うこともあります。

委員会

効率的な議会運営を行うために設けられる会議です。
本会議で最終的な決定がされる前に、議案を詳しく調査したり、審査したりする役割を担っています。
常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があります。

派　遣

議案の審査や委員会の所管する事務の調査・視察などのために、議会の決定に基づいて議員を派遣する制度のことです。
公務として出席する研修、陳情等もこの派遣制度によって行われています。



充実した議案審議を行うために…

- 本会議や委員会に臨むに当たって、議案書を精読し、関連資料の分析や研究をした上で、議案に対する賛否を決めるための準備 をしています。
- 調査が必要な案件や「まちの課題」について、見識を高めるため、研修会に参加したり、議員仲間と勉強会を開催することもあります。


議案書の精読


分析・研究


研修会


勉強会

<<参考文献>>全国町村議会議長会、住民のみなさんに知ってほしい議会の役割と議員の仕事

町政を問う 一般質問

※一般質問とは、議員がその町の行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

議員の胸の内
道の駅
民間委託反対！

繁田（しげた） 弘司（ひろし）



「荒れた9月議会 一般質問」飛び交うヤジ

道の駅民間委託について

問 町長は何故順調に推移している道の駅を「民間企業へ委託」しようと考えているのか伺う。

答 **町長**
現状としては指定管理料も含めて順調な状況です。黒字も毎年約１００万円出て、今問題があるわけではありません。



しかし、5年10年後出荷者の高齢化を考えて、将来を心配し民間への委託を考えています。

問 町長の説明では、全然問題ないと言っている。民間企業の目的がいかに会社に利益を出すことかが理解できてない。出荷者や従業員のことではなく民間企業への気持ちに先走っているのではないか。
今回の委託は「ふるさと納税・政策間連携業務・道の駅の運営」の３点セットで民間委託となっている。
しかも、この何年かは"ＩＴ企業とコンサルばかりへ投資している"。この３年間でコンサル企業へ払った額は１億１２００万円にも上る。
私たちは今まで、町長が提案してきたあらゆるものに賛成してきた。町長や担当課長への信頼関係があったからだ。
しかしこの何年かを振り返ってＩＴ企業とコンサルにいいようにされている「コンサルが栄えて国滅ぶ」コンサルが小さな自治体のおいしいところを食い逃げする。町長や担当課長がその手先になっているのではないか？今や信頼関係はない。
コンサルにこの町を丸投げしようとしているからおかしいのではないか。

答 **みらい創生課長**
成果報酬制をとっておりその年のふるさと納税額に対して一定の委託費を支払う仕組みになっています。寄附額が少なければ委託料は減ります。寄附額が多ければ委託料が増加することになります。

答 **町長**
農業後継者の確保も難しい時代、いろんな切り口でいろいろな分野でやっていくには役場や町内の人材では難しいかと考えます。餅は餅屋、専門家に任せるのが一つの方法ではないかと思っています。



道の駅 童話の里くす

議員の胸の内
財政硬直化は新たな町づくりや住民ニーズに対応できなくなる。行財政健全化は町の喫緊の課題である。

横山（よこやま） 弘康（ひろやす） 議員



行財政改革の状況は

行財政改革プランの効果は

問 「行財政改革プラン」は、令和２年から本年３月までが推進期間だが、終了後、半年が経つ、どの項目で目標を達成し、どのような効果が得られたのかを伺う。

答 **総務課長**
計画通りに進んだ項目は投票所の見直し、手続きのデジタル化、窓口手数料のキャッシュレス化などで約57％達成しました。収入面ではふるさと納税に対する取組で大幅な増加につながっています。



財政構造の分析・改善を

問 過去27年間の財政構造の推移をみると物件費が約２倍、補助費が約１．５倍となっている。特に補助費は他市町村に比べ大きく突出している。扶助費や人件費などを含めた経費の分析、改善を図ることが大切だ。どのように分析、改善をおこなっているのかを伺う。

答 **総務課長**
町単独補助金の見直し実施や財政構造改善内容の検討精査を進めています。又、使用・手数料見直しによる収入増を目指します。
歳出では事業期間を定めての検証などの分析評価によって効果が薄い事業の廃止、事業内容精査によって財源（経費）を縮小化していく改善策を考えています。



ＯＡ化に伴う事務事業の財政効果は

問 今後は生成ＡＩの活用を含めてＯＡ化が事務事業に果たす役割はますます大きくなると見込まれるが、これまでＯＡ化を進めてきたなかで効果や財政面でどのような効果があったのかを伺う。

答 **総務課長**
行政運営にＯＡ化は不可欠で様々な分野でのＯＡ化を進めています。事務処理の効率化はもとより、各種会議のペーパレス化、文書管理の電子化、ウェブ会議、オンライン申請等の推進、マイナンバーカードの活用で、住民サービスの向上を推進しています。



【その他の質問】
・職員町内研修の実施状況について
・一般質問に対する考え方について

教育政策の補助事業

河野（かわの） 博文（ひろふみ） 議員

議員の胸の内
町民に寄り添ったやさしい町を目指してほしい。



教育関係について

問 玖珠郡育英会の奨学金の保証人は2名とあるが1名に変更できないか伺う。

答 教育政策課長
今すぐに判断できないが育英会には町長、議員、教育長が理事となっていますので、教育委員会としても九重町の事務局に要望があることを伝えます。

問 高校生のホームステイ事業を九重町は行っているのに玖珠町は行っていないので是非復活してほしいと思うが考えを伺う。

答 みらい創生課長
高校生は令和7年度まで行ったが、国際情勢・物価高・海外研修の経費高騰、また参加できる生徒が限られる、少ない参加枠の選考にあたる職員への厳しい誹謗中傷があったことや参加した生徒が訪問先でトラブルを起こし関係団体との調整が難しくなったことから教育上の理由で中止したため復活は考えていません。



くすPay事業について

問 玖珠町ではくすPayを使って物価高騰対策事業や福祉事業を行っているが、高齢者支援事業として5000ポイント付与したが、高齢者の多くから使い勝手が悪いと評判になっているが考えを伺う。

答 商工観光課長
今回配布したカードでも問題なく使用されているが中には高齢者は使えない、買物している店で使えない、買物券がよいという投書や電話が数件寄せられているので職員で丁寧に対応しています。

問 使い勝手が悪く条件によっては使えない店が多く高齢者への事業は商品券、もしくは現金にしてほしいと思うが町長はどう考えるか伺う。

答 町長
直接の電話や投書があるので、商工会と相談のうえ町民が使い易いようにしていきます。

【その他の質問】
・道の駅童話の里くす」について



関係・交流人口の創出で人口減少に歯止めを

河島（かわしま） 公司（こうじ） 議員

議員の胸の内
道の駅活性化は関係者みんなの力で！



問 賑わいと交流の拠点として、豊後森機関庫の取り組みを伺う。

答 商工観光政策課長
豊後森機関庫を核として、団体連携や新たな担い手の参画、情報発信、継続的な関わりの創出など多角的な取り組みを進めることで、交流人口、関係人口の増加に繋げていきます。

問 わらべの館を拠点とした旧森エリアの交流人口の創出について伺う。

答 童話の里づくり推進室長
地域資源を繋ぎながら、人が訪れ、地域と関わり、継続的に町と繋がる交流人口および関係人口の拡大、そして町民と行政が一体となった令和の童話の里づくりの実現に向けて取り組みたいと考えています。

問 玖珠町に総合運動公園が在ることで、今では、利便性が良く、評価の高い施設を求めて、多くの人が玖珠町に集まっている。町の活性化・経済効果を図ることについて伺う。

答 町長
様々なスポーツ交流によって関係人口が増えること、いろんな経済効果を引き出すことは非常に良いことと思っています。一番は受け入れ態勢の構築だと感じています。

道の駅童話の里くすに心配の声

問 町は道の駅の経営を本当に、民間事業者に手放すと言っているのか伺う。

答 みらい創生課長
手放すのではなく、行政が関与できるところに、並行して一緒にやっていきたいと説明しています。

問 新規の販路拡大に向け、コンサルに業務委託して、道の駅に関する調査業務及び商品開発、販路拡大のアドバイスを受けている段階と私は承知しているが、それで間違いないか伺う。

答 みらい創生課長
間違いありません。

問 調査報告書から改善施策の提案を受け、これからどう活かしていくのか関係者で協議していくことであり、今後に向けた新たなスタートを切ることを約束してほしい。町長に伺う。

答 町長
基本的には目的・目標は変わりません。また、出荷組合、くすみちスタッフと相談をしながらやっていきます。


日韓交流の様子

議員の胸の内

道の駅出荷者への説明不足だ！

秦（はた） 時雄（ときお） 議員

“道の駅“ なぜ今民間委託なのか



道の駅の運営・管理方針について

問 ”一般社団法人くすみち“は令和9年に新たな指定管理者が担うとの説明があったが、今どうして民間委託しなければならないのか伺う。

答 **町長**
民営化は農家の所得の向上、そして売上げを伸ばし、それが順調に行けば、後継者に繋がることが、全員共通の認識だと思っています。道の駅の民営化を今、手掛けておかなければ5年・10年後を見据えた時、後継者も育たないなど、今売れる形をつくり、環境改善を行い、販路拡大をしたいとの思いで、民間会社に委託を行いたいとの経過でした。

問 出荷者から町主導の運営体制により、安心して出荷できたが、民営化にはさまざまな不安があるなどの声を聞いている。町はどの様に考えているのか伺う。

答 **町長**
道の駅組合をはじめ出荷者の理解が得られなければ、委託するつもりはありません。今回出荷組合からの請願が出されたことにより、関連予算の上程を取りやめ、また議会提案を取りやめました。したがって継続審査になれば真摯に説明を行っていきます。



道の駅の店内写真

5歳児健診（発達障害）の早期発見

問 国の助成事業が開始された5歳児健診の創設について伺う。

答 **子育て健康支援課長**
本町は4歳6か月から5歳5か月までの幼児を対象に児童健康相談を実施しており、保健師、管理栄養士、看護師等の職員を配置し、発達や生活習慣、社会性などについて必要な支援に繋げる体制は既に一定程度整っている状況です。一方で幼児の精神発達を含めた保健医療について診療する医師の確保が出来ていない状況です。小児科医の不足は、大分県下の市町村が苦慮している状況です。このため本町はこれまで大分県と協議を行い、医師派遣について要望を行ってきましたが、現在医師の確保について具体的な解決に至っていません。2028年までには、5歳児健診を実施したいと考えています。



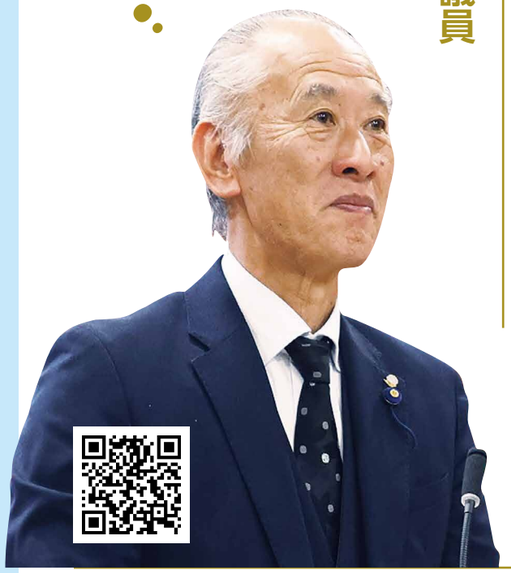
【その他の質問】
・頼れる身寄りのない高齢者への支援について

議員の胸の内

道の駅の未来に地域商社は必要か？

衞藤（えとう） 和敏（かずとし） 議員

「道の駅童話の里くす」経営移譲について



ふるさと納税

問 出荷者の皆さんの同意が得られない限り、経営移譲は断念するという事でいいのか伺う。

答 **町長**
はい。

問 これまで出荷組合に説明がされないまま計画が進められてきたのはなぜか伺う。

答 **みらい創生課長**
組合員のご理解を得ず、進めたことは反省しています。



道の駅の写真

「官民連携」の名の下に進む行政のIT企業依存について

問 地域商社設立案は、提案されたのか、提案したのか伺う。

答 **みらい創生課長**
ふるさと納税の民間業務委託を検討する中、納税を軸とした取組事例の説明を受けて、現在3年目の取り組みとなります。

問 外部企業への委託が行政能力を補完するための外部活用になっているのか、それとも丸投げと言われる外部依存になっていないか伺う。

答 **町長**
一番大事なのは、私をはじめ職員、執行部側が、どのような企業か、どのように町を補完し役割を果たしてもらうかを、見極める力が備われば備わるほど、役場の主体性は高まると思っています。

問 現在の外部委託事業について、契約終了後に企業のノウハウが町に残るような内製化や、職員へのノウハウの移転を目指しているか伺う。

答 **総務課長**
内製化等、職員へのノウハウ移転については重要視し、職員研修や、情報収集に取り組みます。

IT企業との委託契約とベンダーロックインについて

問 本町が導入しているシステム、アプリ等について、ベンダーロックインとリスクを認識しているのか伺う。

答 **総務課長**
デジタル人材の育成など、研修に取り組み、管理職や職員が知識や技術力を向上させることや、共同で運用できるシステムの移行により、特定事業者への依存度を低減させていきたいと考えています。

問 ベンダーロックインが財政悪化の一因になっていないか伺う。

答 **総務課長**
ベンダーロックインの解消に向けて、国や県、自治体の間の協働や、さらに、見極める力を職員がつけることで、経費を減少させることは可能と思っておりますので、今後とも努力します。

※ベンダーロックインとは
導入時の企業（ベンダー）から他社への移行が難しくなる状態

“ガンバりょるばぃ”！

このコーナーは町の次代を担う
子どもたちが集う
「わたしたちの学校」を紹介します！

「わたしたちの学校紹介」くす星翔中学校

学校教育目標　自立した生徒であふれる「くす星翔中学校」の創造に向かって

夢を語れ　　絆を紡げ　　志を貫け

【重点目標】　夢‥将来を見据える力の育成　絆‥仲間と協働する力の育成　志‥今を切り開く力の育成

めざす生徒像

（1）　夢や目標に向け努力する生徒
（2）　命・平和・人権を大切にする生徒
（3）　自分や他者を認め大切にする生徒
（4）　他者と協働できる生徒
（5）　自己肯定感の高い生徒
（6）　自ら学びに向かう自律した生徒
（7）　地域を愛し、地域に貢献する生徒


あいさつ運動


縦割り班清掃

学校行事

4月　始業式　入学式　PTA総会
5月　体育祭　保護者生徒と面談（1年）
6月　教育相談（2年）　郡総体　期末テスト
7月　期末PTA　情報モラル教室　終業式
　　県総体　三者面談（3年）
8月　始業式　休み明けテスト
9月　防災教育
10月　県新人戦　郡駅伝大会　星翔祭
11月　県駅伝大会　2年生修学旅行
　　3年生職場体験　期末テスト
12月　三者面談（3年）　終業式
1月　始業式
2月　小6学校体験　新入生保護者説明会
3月　卒業式　修了式

自律的な学び

【『志を貫く日』　毎週月曜日】
「やらされる学び」から脱却し、自らの意思で目標を立て、家庭学習に取り組みます。

【生成AIパイロット校】
Chromebookを積極的に活用し、個別最適な学習環境と学びの場を保証します。


星翔祭

自律的な生活

【くす星翔中学校は『ノーチャイム』】
常に時計を見て行動します。

【縦割り班清掃】
学年の枠を超えて、3年生をリーダーとする清掃班を作り、学校をきれいにするため、真剣に取り組みます。

生徒会

令和8年度　生徒会スローガン
率先垂範
中央委員会が率先してあいさつや学校生活、委員会活動などに取り組むことで、学校全体の意識や行動がより良いものになっていくと考えます。

地域との協働

【未来塾　毎週水曜日】
地域の方々が講師となり、数学の学びのサポート

【『親の読み聞かせ活動』
毎月第2火曜日】
朝先生（地域の保護者の皆様）による活動

【キャリア教育】
職場体験学習、町内フィールドワーク
夢授業、玖珠町の将来を考える等

【校内整備】
【玖珠美山高校との連携】　など

9月の
議会傍聴者は
35人です。
議会傍聴に
お越しください。

次回の定例会は12月議会です。

※議会傍聴に来れない方は、動画でもご覧になれます。

■ 議会広報特別委員会
委員長／高倉 真由美
編集長／河島公司
委　員／松下 善法・小幡 幸範・石井 龍文
　　髙田 修治・秦 時雄

編集後記

今議会で請願が出され大変な議論となりました。議論の中で一番感じられたことは、説明や協議が十分でなかったことです。より良いまちづくりのためには、思いを理解し合う、まさに、久留島武彦先生の教え「信じ合うこと・助け合うこと・違いを認め合うこと」だと再認識しました。